

TTC 標準

TTC STANDARD

JT-Q2941.2

広帯域 ISDN (B-ISDN)
デジタル加入者線信号方式 No. 2
(DSS2) 汎用識別子転送の拡張

Broadband ISDN (B-ISDN) Digital Subscriber
Signalling System No. 2 (DSS2) Generic Identifier
Transport Extensions

第 1.1 版

2001 年 1 月 30 日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

< 参考 >

1．国際勧告等との関係

本標準は、1999年12月のITU-T SG11 会合（ジュネーブ）において承認されたITU-T 勧告 Q.2941.2 に準拠したものである。

2．上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

なし。

2.2 ナショナルマター項目

なし。

2.3 その他

(1)国内標準の定義

以下2点につき、国内標準を定義した。

- ・ 8.2章 関連する標準/アプリケーションの識別子のコードポイント
- ・ 8.2章 識別子種別のコードポイント

(2)TTC注の記述

ITU-T 勧告 Q.2941.2 には記述されていないが、本標準の理解を助けるため 5.4 章及び 8.2 章に TTC 注記を付与した。

2.4 原勧告と章立ての構成比較

変更なし。

3．改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2000年11月30日	制定
第1.1版	2001年1月30日	参照先 IETF ドキュメントの RFC 番号の記述修正

4．工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページでご覧になれます。

5．注意事項

なし。

目 次

1 . 規定範囲	1
2 . 参考文献	1
3 . 定義	2
4 . 略語	2
5 . 概要	2
5.1 ATM VCC 識別子	2
5.2 ATM 信号 VCC 識別子	2
5.3 H.321 および H.310 終局識別子	2
5.4 インターネット関連識別子	3
5.5 MPOA VPN 識別子	3
5.6 H.245PORTNUMBER	3
6 . 運用上の要求条件	3
7 . プリミティブ	3
8 . コーディング要求条件	3
8.1 メッセージ	3
8.2 情報要素	3
9 . 手順	6
9.1 一般手順	6
9.2 AAL タイプ 2 識別子を使用するための手順	6
付録	7
付録	8
.1 トランキングのための ATM フォーラム ATM VCC 識別子のコーディング例	8
.2 JT-Q2630.1 [6] の ATM VCC 識別子のコーディング例	9
.3 IPv4 セッション 識別子のコーディング例	10
.4 ST2+ セッション識別子のコーディング例	11
.5 IPv6 セッション識別子のコーディング例	12
.6 MPLS VCID 識別子のコーディング例	13
.7 ATM フォーラム MPOA VPN 識別子のコーディング例	14
.8 TTC 標準 JT-H323 のための H.245 PORTNUMBER のコーディング例	14
付録	15

広帯域 ISDN (B-ISDN)
デジタル加入者線信号方式 No. 2 (DSS 2):
汎用識別子転送の拡張

1 . 規定範囲

本標準では、H.321 および H.310 終局識別子(End Station Identifiers)、H.245portNumber、ATM VCC 識別子(ATM VCC Identifier)、ATM 信号 VCC 識別子(ATM signalling VCC Identifier)、インターネット関連識別子(Internet related Identifiers) および MPOA VPN 識別子(MPOA VPN Identifiers)を転送するための DSS2 信号能力について規定する。これらの識別子は、広帯域 ISDN(B-ISDN)のデジタル加入者線信号方式 No.2(DSS2)のために定義された汎用識別子転送情報要素の中にコード化される。

本標準は、DSS2 関連 TTC 標準群の一部である。本標準は、JT-Q2931[1],JT-Q2971[2]に対する拡張を規定しており、それらに含まれる状態、情報要素、メッセージおよび手順は再掲されず、汎用識別子情報要素の使用の拡張のみ規定する。

特に TTC 標準 JT-Q2931[1]、及び JT-Q2971[2]に定義される DSS2 信号能力をサポートし、公衆 B-ISDN 網への接続手段として T_b 参照点または S_b と T_b が一致する参照点の一方の端に接続される装置に対して、本標準は適用可能である。

2 . 参考文献

以下の TTC 標準とその他の参考文献は、本標準中で参照されることにより本標準の規定の一部を構成する。すべての参考文献は改訂されうる。ここでは、本標準が制定された時点での有効な版数を示しているが、すべての標準や勧告および参考文献は改訂されうる。そのため、本標準の利用者は、以下に示した参考文献の最新版を参照すべきである。現在の有効な TTC 標準および ITU-T 勧告の一覧は正式に出版されている。

- [1] TTC 標準 JT-Q2931: 広帯域 ISDN(B-ISDN)デジタル加入者線信号方式 NO.2(DSS2) ユーザ網インタフェース レイヤ 3 仕様 基本呼/コネクション制御
- [2] TTC 標準 JT-Q2971: 広帯域 ISDN(B-ISDN)デジタル加入者線信号方式 NO.2(DSS2) ユーザ網インタフェース レイヤ 3 仕様 ポイントマルチポイント呼/コネクション制御
- [3] TTC 標準 JT-Q2941.1: 広帯域 ISDN(B-ISDN)デジタル加入者線信号方式 NO.2(DSS2) 汎用識別子転送
- [4] TTC 標準 JT-H321: TV 電話会議システムとその端末装置の B-ISDN 環境への適用
- [5] TTC 標準 JT-H310: 広帯域オーディオビジュアル通信システムと端末
- [6] ITU 勧告 Q.2630.1: *AAL type 2 signalling protocol (capability set 1)*.
- [7] TTC 標準 JTH323: パケットに基づくマルチメディア通信システム
- [8] TTC 標準 JT H245: マルチメディア通信用制御プロトコル
- [9] The ATM Forum, af-vtoa-0113.000 (February 1999), *ATM Trunking using AAL2 for Narrowband Services*.
- [10] IETF RFC3033, *The assignment of the information field and protocol identifier in the JT-Q2941 Generic identifier and Q.2957 usertouser signalling for the Internet protocol*.
- [11] The ATM Forum, af-mpoa-0129.000 (October 1999), *MPOA v1.1 Addendum on Virtual Private Network support*.
- [12] IEEE Std 802-1990, *IEEE Standards for Local and Metropolitan Area Networks: Overview and Architecture*, Clause 5.1.

3 . 定義

追加定義なし。

4 . 略語

AAL	ATM Adaptation layer	ATM アダプテーションレイヤ
IANA	Internet Assigned Number Authority	IP アドレス管理委員会
IETF	Internet Engineering Task Force	インターネット技術標準化委員会
IPv4	Internet protocol version 4	IP バージョン 4
IPv6	Internet protocol version 6	IP バージョン 6
ISUP	ISDN user part	ISDN ユーザ部
MPLS	Multiprotocol label switching	MPLS
MPOA	Multiprotocol encapsulation over ATM	MPOA
ST2+	Internet Stream protocol version 2	ST2+
VCC	Virtual channel connection	バーチャルチャネルコネクション
VCID	Virtual channel identifier	バーチャルチャネル識別子
VPN	Virtual private network	仮想私設網

5 . 概要

汎用識別子転送信号能力は、様々な分散アプリケーションによって使用される BISDN を通しての転送、生成を規定する。汎用識別子転送能力は、発側エンティティと着側エンティティ間の識別子を交換するための信号能力である。本標準では、以下の識別子の転送について定義する。

- ATM VCC 識別子(ATM VCC Identifier)
- ATM 信号 VCC 識別子(ATM signalling VCC identifier)
- H.310 および H.321 終局識別子(H.310 and H.321 End Station identifiers)
- インターネット関連識別子(Internet related identifiers)
- MPOA VPN 識別子(MPOA VPN identifier)
- H.245 portNumber(H.245 portNumber)

5.1 ATM VCC 識別子

ATM VCC 識別子は、ある VCC を識別するために用いられる。

5.2 ATM 信号 VCC 識別子

ATM 信号 VCC 識別子は ATM フォーラムで定義される ATM トランキング[9]で使用される。

5.3 H.321 および H.310 終局識別子

終局識別子は、終局の ATM アドレスを、端末あるいは、AAL タイプ 1 と 5 の変換ゲートウェイに提供するために用いられる。本識別子は、TTC 標準 JT-H321 [4] および JT-H310 [5] で定義される、AAL タイプ 1 に基づく端末と AAL タイプ 5 に基づく端末のインタワーキングを容易にするために使用される。手順に関しては、TTC 標準 JT-H310[5]の付属資料 C および TTC 標準 JT-H321 [4]の 7 章を参照。

5.4 インターネット関連識別子

インターネット関連識別子は、2つのエンティティ間の特定のインターネットセッションまたはリソースのために使用される VCC を識別するために用いられる。

(TTC 注：RFC3033 [10]参照)

5.5 MPOA VPN 識別子

MPOA VPN 識別子は、MPOA VPN サービス提供者とそのユーザを識別するために用いられる。

5.6 H.245portNumber

H.245 portNumber は、1つまたは2つの(順方向および逆方向の) RTP(リアルタイムプロトコル)によるメディアのストリームを ATM VCC に関連づけるために用いられる。

ATM 上で提供される H.323 のための H.245portNumber を転送するための汎用アプリケーション転送情報要素の使用方法は、TTC 標準 JT-H323[7]の付属資料 C に記述される。H.245 portNumber は、TTC 標準 JT-H245[8]の 7.3 章に定義される。

6 . 運用上の要求条件

ある網は発ユーザ、および着ユーザへの契約によってのみ本能力を提供し得る。

7 . プリミティブ

本能力をサポートするために必要とされる新規プリミティブはない。

8 . コーディング要求条件

8.1 メッセージ

本標準に必要とされる新規メッセージは無い。TTC 標準 JT-Q2941.1 [3]参照。

8.2 情報要素

明確化のために、TTC 標準 JT-Q2941.1[3]に定義される汎用識別子転送情報要素を付録 に再掲する。汎用識別子転送情報要素の最大長は、63 オクテットまで拡張される。本標準で定義される識別子は以下のように追加コーディングに従う。

関連する標準 / アプリケーションの識別子 (オクテット 5) (注 1)

ビット

87654321

00000001 TTC 標準 JT-Q2941.1 [3]で使用するコードポイント

00000010 TTC 標準 JT-Q2941.1 [3]で使用するコードポイント

00000011 IPv4 (注 2)

00000100 ST2 (注 2)

00000101 IPv6 (注 2)

00000110 MPLS (注 2)

00000111 af-mpoa-0129.000[11](注 3)

00001000 af-vtoa-0113.000 [9] (注 4)

00001001 ITU 勧告 Q.2630.1 [6] (注 5)

00001011 TTC 標準 JT-H323 [7] (注 6)

上記以外 予約済み

ただし、コーディング標準を国内標準とした場合、以下の識別子を国内標準として定義する。

10000000 予約済み(JT-Q2726.4 参照)

上記以外 予約済み

注 1 – 本フィールドは、オクテット グループ 6 及びそれに続くかもしれないオクテットグループに記述される識別子を使用している DSS2 ユーザーを識別する。識別子種別 は、異なる標準 / アプリケーションによって用いられる場合があり、ある標準 / アプリケーションは、同一の汎用識別子転送情報要素中に異なる識別子種別を要求する場合がある。

注 2 – これらのコードポイントは、IPv4, ST2+, IPv6, MPLS、または、オクテット グループ 6 でコード化された識別子に関する 実験プロトコル / 組織(experiment/organization)仕様 を識別する。正確な定義、使用方法、及び記述方法については、IETF 関連仕様を参考にすべきである。解釈に相違のある場合、それらが本標準に優先する。コーディング例については付録 に示す。

(TTC 注 : RFC3033 [10]参照)

注 3 – 本コードポイントは、ATM フォーラム MPOA 仕様 [11]を識別する。正確な対応する識別子の定義、使用方法及び記述方法については、ATM フォーラム仕様を参考にすべきである。解釈に相違がある場合、それらが本標準に優先する。コーディング例については付録 に示す。

注 4 – 本コードポイントは、ATM フォーラム ATM VCC トランキング仕様 [9]を識別する。正確な対応する識別子の定義、使用方法及び記述方法については、ATM フォーラム仕様を参考にすべきである。解釈に相違がある場合、それらが本標準に優先する。コーディング例については付録 に示す。

注 5 関連する標準 / アプリケーションの識別子 フィールドが ITU 勧告 Q.2630.1 [6]を示すとき、ITU 勧告 Q.2630.1 [6]に定義される 2 つの AAL タイプ 2 信号エンティティによって用いられる ATM VCC を識別するために本識別子が用いられる。例については付録 に示す。

注 6 関連する標準 / アプリケーションの識別子 フィールド が TTC 標準 JT-H323 [7]を示すとき、TTC 標準 JT-H323 [7]に定義される H.245 portNumber がオクテットグループ 6 内にコード化される。例については付録 に示す。

識別子種別 (オクテット 6, 7, ..., N)

ビット

87654321

00000001	セッション (注 1,注 2)
00000010	リソース (注 3, 注 4)
00000011	終局 (注 5)
00000111	MPOA VPN 識別子 (注 6)
00001000	ATM VCC 識別子 (注 7,注 8)
00001001	信号 VCC 識別子 (注 9)
00001011	H.245 portNumber (注 10)
00010000	
~	予約済み (注 11)
11111101	
11111110	実験プロトコル/組織用識別子(experiment/organization) (注 12)
11111111	予約済み

ただし、コーディング標準を国内標準とした場合、以下の識別子種別を国内標準として定義する。

00010000

~

予約済み (TTC 注)

11111101

TTC 注：関連する標準 / アプリケーションの識別子(オクテット 5)が、予約済み(TTC 標準 JT-Q2726.4 参照)の場合、この範囲のコードポイントの割当ては、TTC 標準 JT-Q2726.4 にて行う。

注 1- 本コードポイントは、既に TTC 標準 JT-Q2941.1 [3]で定義されている。

注 2- 関連する標準 / アプリケーションのフィールド (オクテット 5) が "IPv4, ST2+ または IPv6"とコード化された場合、セッション 識別子 がオクテット グループ 6 の識別子値フィールドに記述される。セッション識別子種別 の最大長は 56 オクテットである。IETF 仕様で用いられるセッション識別子種別の最大長については、対応する IETF 仕様を参照。

(TTC 注：RFC3033 [10]参照)

注 3 - 本コードポイントは、既に TTC 標準 JT-Q2941.1 [3]で定義されている。

注 4 - 関連する標準 / アプリケーションのフィールド (オクテット 5) が "MPLS"とコード化された場合、MPLS VCID は オクテット グループ 6 に "リソース" 識別子としてコード化される。リソース識別子 種別の 最大長は、56 オクテットである。IETF 仕様で用いられるリソース 識別子 種別の最大長については、対応する IETF 仕様を参照。

(TTC 注：RFC3033 [10]参照)

注 5 - 本コードポイントは、TTC 標準 JT-Q2941.1 [3]で定義されている。

注 6 - 関連する標準 / アプリケーションのフィールド (オクテット 5) が "MPOA"とコード化された場合、MPOA VPN 識別子 は、 オクテット グループ 6 にコード化される。本識別子の最大長は、7 オクテットである。

注 7 - 関連する標準 / アプリケーションのフィールド (オクテット 5) が "ATM フォーラム ATM VCC トランキングのアプリケーション "とコード化された場合、ATM VCC 識別子 は、 オクテット グループ 6 に

コード化されうる。本識別子長は、2 オクテットである。

注 8 - 関連する標準 / アプリケーションのフィールド (オクテット 5) が ITU 勧告 Q.2630.1 [6] を参照するとき、ATM VCC 識別子は ITU 勧告 Q.2630.1 [6] の 7.4.3 節に定義されるパス識別子(path identifier)のオクテット 1 ~ 4 に対応してオクテット 6.1 ~ 6.4 にコード化される。本識別子長は、4 オクテットである。

注 9 - 関連する標準 / アプリケーションのフィールド (オクテット 5) が "ATM フォーラム ATM VCC トランキングのアプリケーション" とコード化された場合、信号 VCC 識別子は、オクテットグループ 6 にコード化されうる。本識別子の最大長は 2 オクテットである。

注 10 - 関連する標準 / アプリケーションのフィールド (オクテット 5) が TTC 標準 JT-H323 [7] とコード化されたとき、TTC 標準 JT-H323 [7] に定義される規則に従って オクテット グループ 6 にコード化される。長さは 2 オクテットである。

注 11 - 関連する標準 / アプリケーションのフィールド (オクテット 5) が IETF ドキュメントを参照しない場合、コードポイントの範囲の割当は ITU-T DSS 2 ラポーターグループの責任に委ねられる。関連する標準 / アプリケーションの識別子 フィールド (オクテット 5) が IETF ドキュメントを参照する場合のみ、コードポイントのこの範囲で割当られた識別子は、IANA に委ねられる。。

注 12 - 関連する標準 / アプリケーションの識別子 フィールド (オクテット 5) が IETF 仕様 (IPv4, ST2+, IPv6 または MPLS) を参照する場合、実験プロトコル/組織用識別子(experiment/organization) は オクテットグループ 6 にコード化される。 オクテット グループ 6 の最初の 3 オクテット は、IEEE 802-1990 5.1 章 [12] に定義される OUI(Organizationally unique identifier) を含む。

9 . 手順

9.1 一般手順

TTC 標準 JT-Q2931 [1] への追加手順はない。TTC 標準 JT-Q2941.1 [3] の手順が適用される。

9.2 AAL タイプ 2 識別子を使用するための手順

本節では、VCC の識別のために AAL タイプ 2 識別子を使用した DSS 2 手順を定義する。

ATM SVC が隣接する AAL2 ノード間の AAL2 コネクションを転送するために用いられるとき、汎用識別子転送情報要素は AAL タイプ 2 信号エンティティ間で AAL タイプ 2 パス識別子(path identifier)の転送に使用される。

「呼設定」(SETUP)メッセージにおいて、汎用識別子転送情報要素は以下のようにコード化されなければならない。

- オクテット 5 : "0 0 0 0 1 0 0 1" (TTC 標準 JT-Q2630.1 [6] の識別のため)
- オクテット 6 : "0 0 0 0 1 0 0 0" (ATM VCC 識別子を示すため)
- オクテット 6.1 (識別子長) : 4

オクテット 6.2 ~ 6.5 : ITU 勧告 Q.2630.1 [6] 7.4.3 節 に定義される AAL タイプ 2 パス識別子(path identifier)を含み、パス識別子をそれぞれオクテット 1 ~ 4 にコード化する。

VCC 確立開始時、発番号情報要素は、ITU 勧告 Q.2630.1 [6] で定義される AAL タイプ 2 ノードを識別するために使用されなければならない。Q.2630.1 着番号情報要素は、VCC を終端する AAL タイプ 2 信号エンティティを識別しなければならない。オクテット 6.1 ~ 6.4 に含まれる情報が、着番号情報要素で識別された AAL タイプ 2 ノードに受け入れられないならば、VCC 確立は解放されなければならない。

双方の AAL タイプ 2 信号エンティティが同じ ATM VCC 識別子を割り当てるときに発生する 2 重捕捉を解決するために、発番号情報要素は他方のエンティティを識別するために用いられる。AAL タイプ 2 信号エンティティが 2 重捕捉であると判明した場合、「呼設定」(SETUP)メッセージを受信後に DSS2 解放手順が実行される。

付録

(本付録は、標準の一部ではない)

本付録は、TTC 標準 JT-Q2941.1 [3]で定義される汎用識別子転送情報要素の書式を再構成したものである。明確さと完全を期するために記述する。

ビット								オクテット
8	7	6	5	4	3	2	1	
汎用識別子転送情報要素								
0	1	1	1	1	1	1	1	1
1 拡張	コーディング標準	情報要素動作表示フィールド			情報要素動作内容.			2
		フラグ	予約 済み					
情報要素内容長								3 4
関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
識別子種別								6 (注)
識別子長								6.1
識別子値								6.2 ~ 6.m
識別子種別								N*
識別子長								N.1*
識別子値								N.2* ~ N.n*

注 - オクテットグループ6は、オクテットグループ7,8,...,Nと順番に番号付けされた新しいオクテットグループの形で繰り返すことができる。

付図 - 1 / JT-Q2941.2 汎用識別子転送情報要素
(ITU-T Q.2941.2)

付録

(本付録は、標準の一部ではない)

本付録は、本標準で定義される識別子のコーディング例を記述する。

識別子の正確な定義、使用方法、およびコーディングのために、適切な仕様書、標準、または ITU-T 勧告を参考にすべきである。解釈に相違のある場合、それらが本標準に優先する。

.1 トランキングのための ATM フォーラム ATM VCC 識別子のコーディング例

ビット								
8	7	6	5	4	3	2	1	オクテット
関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
0	0	0	0	1	0	0	0	
識別子種別 = ATM VCC 識別子								6 (注 1)
0	0	0	0	1	0	0	0	
識別子長 = 2								6.1
0	フラグ	X	X	X	X	X	X	6.2 (注 2, 3)
拡張								
1	X	X	X	X	X	X	X	6.3
拡張								

注 1 - 本識別子は、トランキングのための ATM VCC 識別子として知られている。

注 2 - X = 0 ~ $2^{13} - 1$ の範囲の、2 進化符合化されたトランキングのための ATM VCC 識別子値。

注 3 - フラグにより、識別子の生起側の AAL タイプエンティティを識別する。生起発側の識別子では常にこのフラグを”0”に設定し、他方では”1”に設定する。フラグの目的は、両端で同時に同じ識別子値を選択した時の曖昧さを解決することである。

付図 - 1 / JT-Q2941.2 トランキングのための ATM VCC 識別子のコーディング例
(ITU-T Q.2941.2)

.2 JT-Q2630.1 [6] の ATM VCC 識別子のコーディング例

ビット								オクテット
8	7	6	5	4	3	2	1	
関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
0	0	0	0	1	0	0	1	
識別子種別 = ATM VCC 識別子								6
0	0	0	0	1	0	0	0	
識別子長 = 4								6.1
X	X	X	X	X	X	X	X	6.2
X	X	X	X	X	X	X	X	6.3 (注 1)
X	X	X	X	X	X	X	X	6.4
X	X	X	X	X	X	X	X	6.5

注 1 – オクテット 6.1 ~ 6.4 には、ITU 勧告 Q.2630.1 [6] の 7.4.3 節 に定義されるパス識別子 (path identifier) のオクテット 1 ~ 4 をそれぞれに記述する。

付図 - 2 / JT-Q2941.2 ITU 勧告 Q.2630.1 で定義される ATM VCC 識別子のコーディング例 (ITU-T Q.2941.2)

3 IPv4 セッション 識別子のコーディング例

ビット								オクテット
8	7	6	5	4	3	2	1	
関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
0	0	0	0	0	0	1	1	
識別子 種別 = セッション識別子								6 (注 1)
0	0	0	0	0	0	0	1	
識別子長 = 13								6.1
発側 IPv4 アドレス								6.2 ~ 6.5
着側 IPv4 アドレス								6.6 ~ 6.9
プロトコル								6.10
発側ポート								6.11 ~ 6.12
着側ポート								6.13 ~ 6.14

注 1 - ここで規定するセッション識別子は、明示的な予約の場合のみ使用されることを意味する。任意の団体が後に別の用途で使用したい場合、別の識別子が使用されることになる。

付図 II - 3 / JT-Q2941.2 IPv4 セッション識別子のコーディング例
(ITU-T Q.2941.2)

4 ST2+ セッション識別子のコーディング例

ビット								オクテット
8	7	6	5	4	3	2	1	
関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
0	0	0	0	0	1	0	0	
識別子種別 = セッション識別子								6
0	0	0	0	0	0	0	1	
識別子長 = 6								6.1
ストリーム ID (注 1)								6.2
								6.3
								6.7

注 1 - オクテット 6.2 ~ 6.7 には、ストリーム ID (SID)を記述する。

付図 - 4 / JT-Q2941.2 ST2+ セッション識別子のコーディング例
(ITU-T Q.2941.2)

.5 IPv6 セッション識別子のコーディング例

ビット								オクテット
8	7	6	5	4	3	2	1	
関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
0	0	0	0	0	1	0	1	
識別子種別 = セッション識別子								6 (注 1)
0	0	0	0	0	0	0	1	
識別子長 = 37								6.1
発側 IPv6 アドレス								6.2 ~ 6.17
着側 IPv6 アドレス								6.18 ~ 6.33
プロトコル								6.34
発側ポート								6.35 ~ 6.36
着側ポート								6.37 ~ 6.38

注 1 - ここで規定するセッション識別子は、明示的な予約の場合のみ使用されることを意味する。任意の団体が後に別の用途で使用したい場合、別の識別子が使用されることになる

付図 II - 5 / JT-Q2941.2 IPv6 セッション識別子のコーディング例
(ITU-T Q.2941.2)

.6 MPLS VCID 識別子のコーディング例

ビット								オクテット
8	7	6	5	4	3	2	1	
関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
0	0	0	0	0	1	1	0	
識別子種別 = リソース識別子								6
0	0	0	0	0	0	1	0	
識別子長 = 4								6.1
MPLS VCID								6.2
								6.5

付図 - 6 / JT-Q2941.2 MPLS VCID 識別子のコーディング例
(ITU-T Q.2941.2)

.7 ATM フォーラム MPOA VPN 識別子のコーディング例

関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
0	0	0	0	0	1	1	1	
識別子種別 = MPOA VPN 識別子								6
0	0	0	0	0	1	1	1	
識別子長 = 7								6.1
OUI (注 1)								6.2 6.3 6.4
OUI仕様 VPN インデックス値 (注 2)								6.5 6.6 6.7 6.8

注 1 - OUI(Organizationally Unique Identifier)は、IEEE 8021990[12]で定義される。

注 2 - MPOA VPN 識別子を示す 4 オクテット整数値、この値は OUI によって認められた組織により割り当てられる。

付図 - 7 / JT-Q2941.2 MPOA VPN 識別子のコーディング例
(ITU-T Q.2941.2)

.8 TTC 標準 JT-H323 のための H.245 portNumber のコーディング例

ビット								
8	7	6	5	4	3	2	1	オクテット
関連する標準 / アプリケーションの識別子								5
0	0	0	0	1	0	1	1	
識別子種別 = H.245 portNumber								6
0	0	0	0	1	0	1	1	
識別子長 = 2								6.1
16 ビットの 2 進化符号化された H245 portNumber								6.2 6.3

付図 - 8 / JT-Q2941.2 H.245 portnumber のコーディング例
(ITU-T Q.2941.2)

付録

(本付録は、標準の一部ではない)

動作指示表示の設定のためのガイドライン

本付録は、汎用識別子転送情報要素における動作指示表示フィールドの設定のためのガイドラインを記述する。インプリメントにおいては、可能な特定の要求に従って、動作指示表示を違ったふうに設定することを選択できる。情報要素に対して推奨される動作指示表示の設定を以下に示す。

フラグ： "明示的な動作指示に従う"

動作表示： "呼解放"

第 1 . 1 版 作成協力者 (2 0 0 1 年 1 月 2 4 日)

第二部門委員会

委員長	岡田 忠信	日本電信電話(株)
副委員長	岸本 淳一	(株)ディーディーアイ
副委員長	見持 博之	(株)日立製作所
委員	山越 豊彦	東京通信ネットワーク(株)
委員	貝山 明	(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ
委員	森 文男	(株)エヌ・ティ・ティ・データ
委員	萩原 啓司	住友電気工業(株)
委員	柳田 達哉	ノーテル ネットワークス(株)
委員	稲見 任	富士通(株)
委員	田中 信吾	(財)電気通信端末機器審査協会
委員	青柳 慎一	WG2-1 委員長・日本電信電話(株)
委員	加藤 周平	WG2-1 副委員長・沖電気工業(株)
委員	飛田 康夫	WG2-1 副委員長・三菱電機(株)
委員	小林 敏晴	WG2-2 委員長・(株)ディーディーアイ
委員	保村 英幸	WG2-2 副委員長・西日本電信電話(株)
委員	河合 淳夫	WG2-3 委員長・(株)日立製作所
委員	杉山 秀紀	WG2-3 副委員長・日本アイ・ビー・エム(株)
委員	富久田 孝雄	WG2-3 副委員長・日本電気(株)
委員	渡部 信幸	WG2-4 委員長・日本電信電話(株)
委員	松田 雅之	WG2-4 副委員長・(株)ディーディーアイ
委員	竹内 宏則	WG2-4 副委員長・松下通信工業(株)
委員	三宅 功	WG2-5 委員長・日本電信電話(株)
委員	加藤 聰彦	WG2-5 副委員長・(株)ディーディーアイ
委員	田代 隆夫	WG2-5 副委員長・沖電気工業(株)
委員	前田 洋一	WG2-B-ISDN 委員長・日本電信電話(株)

(注) WG2-xx : 第二部門委員会 第 xx(xx 特別)専門委員会

第二部門委員会 第二専門委員会

委員長	小林 敏晴	(株)ディーディーアイ
副委員長	保村 英幸	西日本電信電話(株)
委員	北川 隆也	(株)ディーディーアイ
委員	古澤 正孝	東京通信ネットワーク(株)
委員	野口 崇	日本テレコム(株)
委員	大羽 巧	日本電信電話(株)
委員	小池田 寛士	大阪メディアポート(株)
委員	羽田野 浩	東日本電信電話(株)
委員	吉田 浩和	安藤電気(株)
委員	長島 芳信	アンリツ(株)
委員	一條 輝城	岩崎通信機(株)
委員	北畠 好章	沖電気工業(株)
委員	浅井 和義	神田通信工業(株)
委員	椿原 一志	キヤノン(株)
委員	中尾 孝夫	シャープ(株)
委員	甲斐 雄介	住友電気工業(株)
委員	墨 豊	(株)大興電機製作所
委員	猿渡 圭介	(株)田村電機製作所
委員	猪澤 隆広	(株)東芝
委員	山田 章治	東洋通信機(株)
委員	船橋 好一	日本アイ・ピー・エム(株)
委員	上田 達人	SWG1 リーダ・日本電気(株)
委員	中島 巳範	日本ユニシス(株)
委員	柳田 達哉	ノーテル ネットワークス(株)
委員	寺田 祐二	(株)日立製作所
委員	山崎 貞二	(株)日立テレコムテクノロジー
委員	小松 潔	富士通(株)
委員	松倉 章	松下通信工業(株)
委員	高木 健次	松下電器産業(株)
委員	高瀬 譲	松下電送システム(株)
委員	武田 博	三菱電機(株)
委員	大橋 正典	ヤマハ(株)
委員	並川 将典	(株)リコー
委員	今井 尚雄	(株)アルファシステムズ
委員	小林 詠史	(財)電気通信端末機器審査協会
事務局	内田 真一	TTC 第2 技術部

J T - Q 2 9 4 1 . 2 検討グループ (S W G 3)

リーダー	北島 好章	沖電気工業(株)
サブリーダー	大羽 巧	日本電信電話(株)
サブリーダー* 1	加納 修	日本電気(株)
特別専門委員	川西 直毅	(株)ディーディーアイ
特別専門委員	大薄 智樹	東京通信ネットワーク(株)
特別専門委員	山田 尚	日本電信電話(株)
委員	小池田 寛士	大阪メディアポート(株)
特別専門委員	佐尾 英博	西日本電信電話(株)
委員	長島 芳信	アンリツ(株)
特別専門委員	藤沢 信利	岩崎通信機(株)
委員	椿原 一志	キヤノン(株)
委員	中尾 孝夫	シャープ(株)
委員	甲斐 雄介	住友電気工業(株)
委員	墨 豊	(株)大興電機製作所
特別専門委員	大谷 克巳	(株)日立製作所
特別専門委員	北野 隆	富士通(株)
特別専門委員	田口 卓哉	三菱電機(株)
特別専門委員	岩崎 司	(株)リコー

* 1 : 特別専門委員